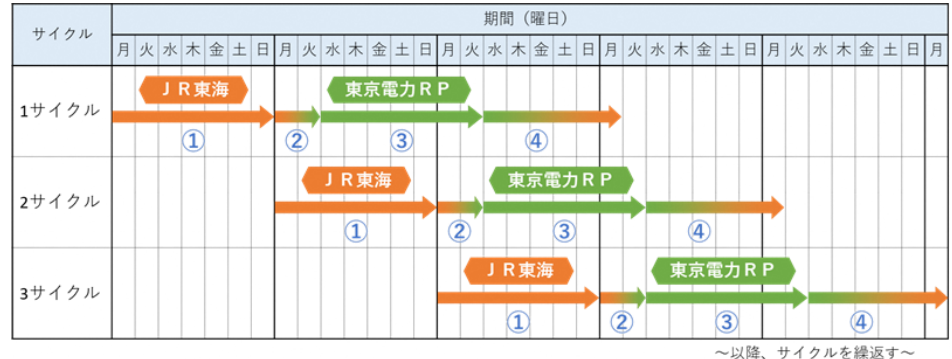


今回のご説明の概要（田代ダム取水抑制案）

運用サイクルやオペレーションの詳細

- 1週間毎に取水抑制を実施することを基本として運用します。①県外流出量の測定、②取水抑制量の報告、③取水抑制の実施、④取水量・放流量の報告・確認までを1サイクル（約3週間）とし、繰り返し実施していきます。

- 東京電力リニューアブルパワー株式会社（以下、東京電力R P）により、大井川取水ダムの維持放流ゲートと集水用取水口の制水ゲートを制御し



① 県外流出量の測定 ② 取水抑制量の報告
③ 取水抑制の実施 ④ 取水量・放流量の報告・確認

図1 基本的な運用サイクル

ます。維持放流ゲートでは河川維持流量に取水抑制量を加えた量（最低放流量）以上に設定し放流するとともに、制水ゲートでは取水抑制を行わないとした場合に計画する取水量から取水抑制量を差し引いた量（集水用取水口最大取水量）以下に設定し取水します。

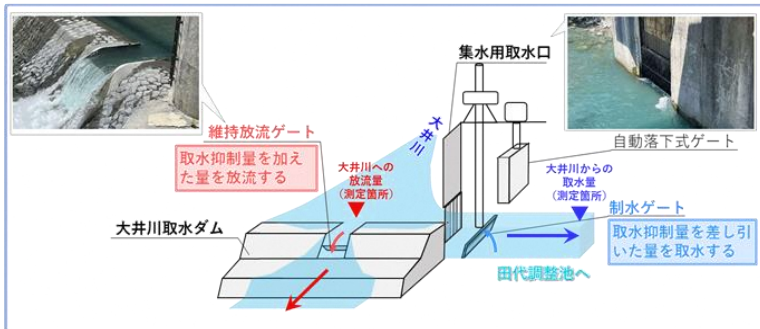


図2 取水抑制の実施

表1 期別の河川維持流量

期間	河川維持流量 (m³/秒)
12/6～3/19	0.43
3/20～4/30	0.98
5/1～8/31	1.49
9/1～12/5	1.08

- 測定結果について、「大井川への放流量が最低放流量を上回っていること」「大井川からの取水量が集水用取水口最大取水量を下回っていること」を確認します。

表2 測定結果の報告例

日付	a) 県外流出量 (報告値)	放流量			取水量					i) 取水前の河川流量 (d+h)
		b) 河川維持流量 (規定値)	c) 最低放流量 (b+a)	d) 大井川への放流量 (測定値)	e) 第一取水口許可取水量 (規定値)	f) 田代調整地への直接流入量 (測定値)	g) 集水用取水口最大取水量 (e-f-a)	h) 大井川からの取水量 (測定値)		
10 水	0.2※	0.43	0.63	0.76	4.99	0.01	4.78	2.50	3.26	
11 木				0.70		0.02	4.77	2.61	3.31	
12 金				0.74		0.02	4.77	2.68	3.42	
13 土				0.75		0.00	4.79	2.45	3.20	
14 日				0.74		0.01	4.78	2.30	3.04	
15 月				0.71		0.01	4.78	2.51	3.22	
16 火				0.78		0.00	4.79	2.59	3.37	
			週平均 0.63	週平均 0.74		週平均 4.78	週平均 2.52	週平均 3.26		

※前週（1日～7日）の測定値の週平均（小数点以下2桁切上げ）。↑ JR東海から東京電力RPへ取水抑制量として報告する値。

「c) 最低放流量 ≤ d) 大井川への放流量」を確認

「g) 集水用取水口最大取水量 ≥ h) 大井川からの取水量」を確認

県外流出量の測定方法

・ 県外流出量は①県境付近で常時計測します。切羽からのトンネル湧水は、坑内に設置した排水側溝を流下し、県境付近でタンクにポンプアップし、三角堰を設け超音波式水位計を用いて越流水深を常時計測します。

※測定方法は、今後高速長尺先進ボーリング等の結果を踏まえて、計画を深度化する中で変更となる可能性があります。

・ 突発湧水発生時には①県境付近のほか、②先進坑接続部付近や③広河原非常口付近でも計測します。②先進坑接続部付近では、土嚢等で湧水を堰き止めて広河原斜坑に設置したインバートプールに誘導し、①と同様な方法で測定します。それでも湧水が越流する場合には③広河原非常口付近のヤードに堰を設けて貯水し、排水箇所にて水路幅、水深、流速を測定し、湧水量を測定します。

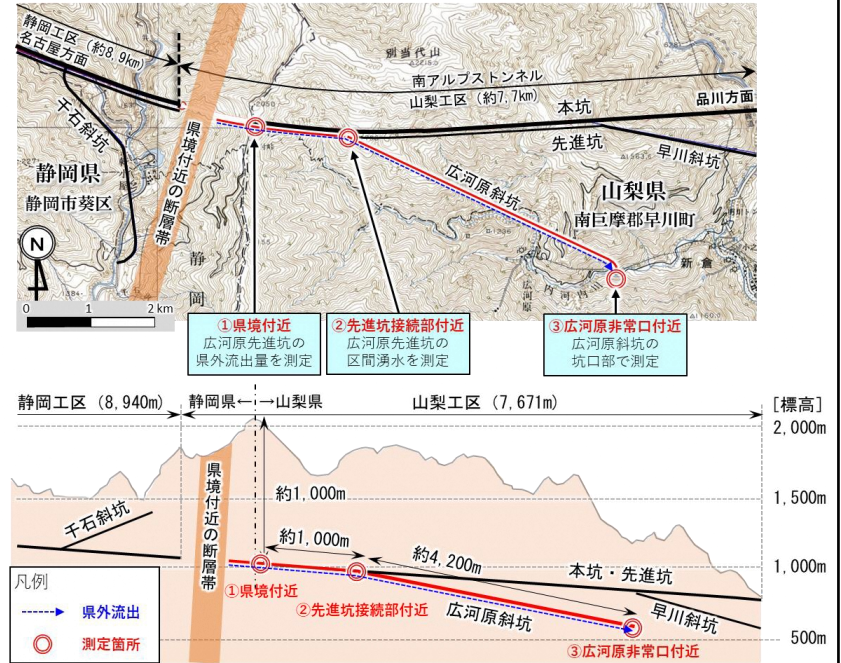


図3 県外流出量の測定箇所

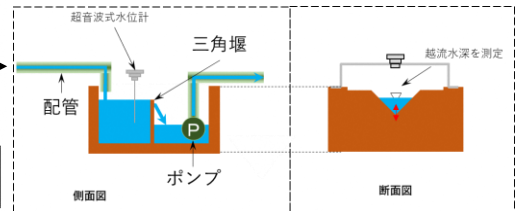
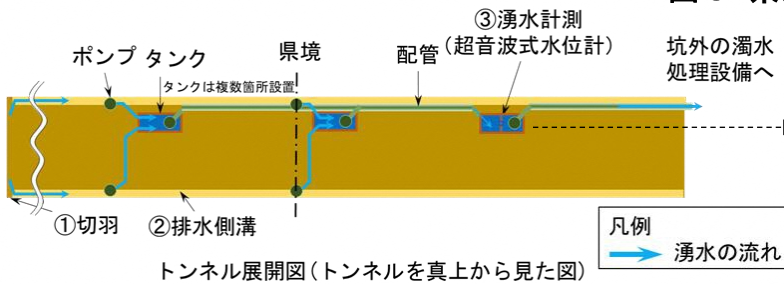


図4 ①県境付近での測定方法

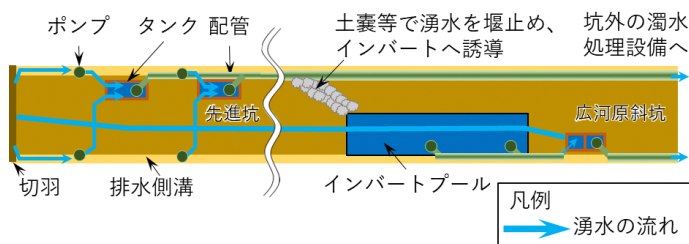


図5 ②先進坑接続部付近での測定方法

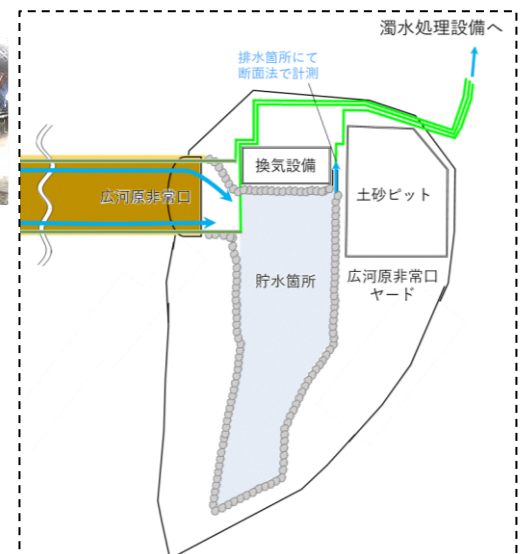


図6 ③広河原非常口付近での測定